

平成 30 年度 第 3 回信濃町長期振興計画審議会 議事要旨

日時：平成 30 年 12 月 18 日（火）15 時～16 時 30 分

場所：役場第 1・2 会議室

出席者

○出席委員：佐藤 恵明 委員、永原 邦徳 委員、間瀬 一朗 委員、砂山 聡 委員、服部 征子 委員、原山 公平 委員、飯塚 弘司 委員、外谷 豊 委員、志原 悦子 委員、外谷 政子 委員、棚橋 靖 委員、吉川 功一 委員、赤松 玄人 委員、松村 修 委員、太田 美佳 委員、出浦 洋子 委員、佐藤 恵里 委員（17 人）

○町（事務局）：高橋総務課長、総務課まちづくり企画係 黒田係長、川口主幹、古川主査

○計画策定支援事業受託者：特定非営利活動法人 SCOP 北村主席研究員、鈴木研究員

1 開 会

（高橋総務課長）

定刻になりましたので、ただ今から第 3 回信濃町長期振興計画審議会を開会いたします。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。なお、現時点で委員の過半数の出席がありますので、本会議は成立しておりますことを御報告申し上げます。

それでは、次第に従いまして、まず、松村会長よりごあいさつをいただきたいと思えます。

2 会長あいさつ

（松村会長）

年の瀬の押し迫った時ですが、皆様方におかれましては、大変お忙しい中お集まりいただき、感謝申し上げます。

前回の審議会では町民意識調査及び住民ワークショップの結果について、事務局より報告を受けるとともに、計画の基本構想の策定方針（案）について皆様にお諮りしたところでございます。また、その後事務局から委員の皆様あて依頼がありました基本構想の策定方針（案）への意見照会についても多くの委員の皆様の御協力をいただき、御礼申し上げます。

今回の審議会では、委員の皆様からの御意見を踏まえ、事務局において作成した基本構想の素案について説明をいただく予定でございます。委員の皆様におかれては、忌憚のない御意見をいただきますようお願いいたしまして、簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。

3 議事録署名委員の指名

（高橋総務課長）

ありがとうございました。次に、本日の議事録署名委員の指名を松村会長からお願いいたします。

(松村会長)

議事録署名委員については、出席委員の持ち回りによりお願いしているところです。今回は砂山聡委員、原山公平委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(高橋総務課長)

指名された委員のお二人には後日事務局から議事録の署名を御依頼申し上げますのでお願いいたします。

それではこれより審議事項に入ります。規定により松村会長に議事進行をお願いします。

4 審議事項

(松村会長)

早速ですけれども、これより審議に入ります。本日の議事ですが、まず、審議事項（1）について事務局から説明を受けた後に質問をお受けしたいと思います。それでは事務局から説明をお願いします。

(事務局：黒田係長)

以下の資料について説明

- ・資料 1－1 信濃町第6次長期振興計画 基本構想（素案）
- ・資料 1－2 寄せられた意見と反映の考え方

(高橋総務課長)

私から少し補足をさせていただきます。まず、本日お示した「基本構想（素案）」という位置づけから説明いたします。今回は素案ということですので、この素案について御意見をいただき、2月の審議会の際に「基本構想（案）」というものをお示したいと考えております。庁内においても係長以上の職員で構成する庁内策定委員会という組織においても同じく素案に対する意見を聴取しているところです。このように素案に対する意見をいただく中で2月の段階では基本構想（案）をお示したいと考えております。

この素案は、第1編の序論、第2編の基本構想により構成されています。序論は基本構想に至る現状の説明資料でございます。例えば、3ページの居住継続意向では「これからもずっと住みたい」「当分は住みたい」という本年度に実施した住民意識調査の結果に関する資料をつけていますが、図表の3によると「これからもずっと住みたい」と「当分は住みたい」の合計が71.1%ということですが、平成26年度に同様の調査を行った結果と比較すると71.6%とほぼ横ばいとなっています。ただし、その内訳でいきますと「これからもずっと住みたい」が減っている一方で、「当分は住みたい」が増えています。住民の方の意向が「ずっと住みたい」から「当分は住みたい」に移っているということが分かります。これが如実に表われているのが右側の図表4になりますが、70歳以上の方の「ずっと住みたい」割合が55.8%（平成25年度）から、44.1%（平成30年度）ということで10%ほど落ちてしまっています。このような状況を基本構想の中では課題ということで位置づけています。

4 ページと 5 ページの資料ですが、こちらは基本構想の基本理念に出てくる協働の取組状況をアンケートで明らかにしたものになります。

6 ページからの基本構想は、まず、10 年後のまちのビジョンである将来像とこれを実現するための基本的な姿勢である「対話と協働」という基本理念を掲げています。今回最も重要になるのは信濃町の将来像であり、これがぶれてしまうとまちの目指す姿が違ってきてしまうということになります。8 ページ以降のまちづくりの基本目標は「将来像」を実現するための各分野ごとのまちづくりの目標となります。

このような構成になっておりますので、特に 10 年間ぶれずにまちづくりをしていくための将来像、ビジョンの部分について御意見をいただければ、審議会の御意見としてまとめていきたいと考えています。

(松村会長)

ありがとうございました。ただ今の説明について、御意見や御質問がありましたらお願いします。

《発言なし》

(松村会長)

それでは、次の審議事項に移ります。御意見等は次の議事の終了後でも差し支えありませんのでお願いいたします。まず、審議事項（2）について事務局からお願いします。

(古川主査)

以下の資料について説明

- ・資料 2 信濃町第 6 次長期振興計画の策定に係る人口推計

(松村会長)

ありがとうございました。それではただ今の説明について、御意見や御質問がありましたらお願いします。

(委員)

先日事務局から基本構想に対する意見を求められましたが、どうすれば信濃町が住みよいまちになるかということを実際に考えて回答したつもりです。しかし、この基本構想（素案）を読むとやはり表現が難しく、伝わってこないところがあります。具体的に何をやるのかということが表現されていれば分かりやすいのではないかと思いますので、ご検討いただければと思います。

(黒田係長)

御意見を踏まえ、分かりやすい表現となるよう文面などは改めて事務局で精査させていただきます。また、基本理念や将来像、まちづくり基本目標の位置づけなどを図で表したものの追加なども検討したいと思います。

(委員)

ぜひ、町が考える将来のまちのあり方、希望が持てる将来像を提示していただければと思います。

(高橋総務課長)

御意見ありがとうございます。基本構想では町の将来像、ビジョンといった非常に抽象的なものになっておりますが、このビジョンでは「住み続けられるまち」であるということが一番の目標であると考えております。例えば、2018年から2029年までの人口の推移をみると、特に15歳～64歳までの生産年齢人口がこの10年間で3割減少し、単純に計算すると町の総生産が3割減少することになります。また、高齢化も進んできますので、社会福祉の充実も必要となりますが、町の税収が減ってくるなかで、行政サービスを維持していくということになると、政策や事業の取捨選択をしなければいけないという局面がまもなくやってきます。職員にもアンケート結果やこの基本構想（素案）等を見て、内部でよく検討するよう指示をしておりますが、やはり職員一人ひとりが考え、アイデアを出してもらわなければこの10年間は非常に厳しい状況となるのではないかと思います。では具体的に何をやっていくのかということになります。そちらは来年の4月以降の前期基本計画の策定の段階になります。そこで町として具体的に何をやっていくのかということをお示しできればと考えております。

(松村会長)

具体的な施策については、4月以降に町で検討するということですので、よろしいでしょうか。それでは、他に御意見等ありましたらお願いします。

(委員)

人口減少が続いているということですが、それだけではなくて減少している原因をつきとめて欲しいと思います。勤務先が町外にあり、家を建てるときに転出してしまうという話もよく耳にします。町内で働くことのできる場所をつくるなど、原因に対応した対策をとって欲しいと思います。

また、結婚しない若者も増えているように感じます。個人のプライバシーもあるので、あまりこちらから結婚を勧めるのは難しいですが、若者が結婚して家庭を持ち、子育てをすることは町にとってプラスとなりますので、ぜひ町の方でも目を向けてもらいたいと思います。

(高橋総務課長)

人口減少の要因には死亡者数が出生数を上回る（自然減）と転出者数が転入者数を上回る（社会減）2つの要因があります。内訳としては自然減によるものが6割、社会減によるものが3割となっております。基礎調査にもありますが、信濃町では20～24歳で転出する若者が非常に多く、そういった子どもたちが戻ってこないという状況となっております。また、転入・転出の状況をみると、県外から町内の転入と町内から県外への転出はほぼバランスがとれている一方で、圧倒的に多いのが長野市への転出でございます。勤務先への通勤の問題や高齢になってからも住み続けられるかという不安もあって転出される方など様々な理由があ

ると思われませんが、そういった方々が安心して可能な限り町内に住み続けてもらえるような対策が必要ではないかと考えています。

また、結婚支援事業についても町として少しずつ進めているところです。やはり当事者本人の気持ちの部分がありますので難しいところではありますが、婚活イベントやマッチングサイトへの登録など長野地域の市町村とも連携して取り組んでいるほか、本年度から結婚新生活支援事業という結婚して新たに所帯を持たれた方に補助をする事業を始めたところです。

なお、出生数を増やすためには、ある程度長期的な取組が必要となりますが、移住促進の取組は人口増に直接的に結びつくということで、現在、町としても積極的に取り組んでいるところです。信濃町に観光に訪れた方などがここに住みたいと思ってもらえるよう、これからは、行政だけでなく地域の皆様からアイデアをいただいて実施していきたいと思っております。

(松村会長)

それでは、他に御意見等あればお願いします。

(委員)

人口減少の状況について御説明いただきましたが、当団体でも同様の課題を抱えており、ピーク時には約 500 名いた会員が現在 300 名となっております。とりわけ家族経営の宿が多い観光業は、経営者の年代も 50 代から 70 代が多く、恐らく 5 年後から 10 年後には事業承継ができずに廃業という流れになることが予想されます。そのため、当団体としても、観光業を今後も維持していくことを最も重要な課題と位置づけて取り組んでいるところですが、町の方でも減少が緩やかになるような対策を御検討いただければありがたいと思います。

(高橋総務課長)

町では、商工会の皆様にも御協力いただきながら、創業を支援するための起業塾や補助事業を実施しておりますが、それら活用した起業件数は概ね 20 件程度あり、徐々に成果が出てきているところです。創業される方にはペンションの宿泊業を承継された移住者の方もおられると聞いております。人口減少を抑制するためには、仕事や働く場所という面も非常に重要になってきますので、具体的な施策などを検討する前期基本計画の策定の段階ではそのような施策も検討していかなければならないと考えておりますので、引き続き御協力をお願いできればと思います。

(松村会長)

それでは、全体を通じて何か御意見等ありましたらお願いします。

(委員)

基本構想の達成度を測るための成果指標を目標人口のみとしてしまうと、人口の推移だけにしか目が向かなくなってしまうのではないかと思います。もっと外からの人を惹きつけるような方向に結びつくような成果指標が他にもあればと思いますがいかがでしょうか。

(高橋総務課長)

基本構想にぶら下がる様々な取組の結果として目標人口を成果指標に設定したいと考えておりますが、例えば、今回住民アンケートで把握した定住意向（住み続けたいかどうか）などを指標に追加して、5年毎の推移をみるという方法もございます。また、来年度策定する基本計画には、それぞれの施策に対する目標値も設定する予定ですので、具体的な施策に対する成果指標はその段階で議論をいただければと思います。

目標人口は、基本構想の全体の成果指標という位置づけになりますが、目標人口を設定していない市町村もございます。次回の審議会では具体的に目標人口を何人にするのかということをお審議いただくことを予定していますが、そのあたりも議論のひとつになるかと思われるのでぜひ御意見をいただければと思います。

(松村会長)

ありがとうございます。それでは話は尽きない訳でございますが、時間の関係もありますので、一旦議論を閉じさせていただきたいと思っております。本日御発言できなかった御意見・御質問等につきましては、事務局の方へ後日提出いただければと存じます。

それでは、最後に、事務局から何かありましたらお願いします。

(黒田係長)

次回の審議会については、2月に開催を予定しております。日程等が決まりましたら改めてお知らせいたしますのでお願いいたします。

(松村会長)

委員の皆様から何か御発言したいことなどございますか。

(委員)

前回の10年前の第5次長期振興計画の策定時には、人口がちょうど1万人を割るか割らないかという時期で、それもあって目標人口を1万人としたのですが、それから10年の月日が経って、あの時とは随分変わったなという感想を持っています。ただ、希望を持てることは、資料1-1の3ページにありますとおり、20歳以下の方は信濃町にずっと住み続けたいという意向が増えているということです。これからもこの傾向を増やしていくしか方法はないのではないかと考えています。このままだと厳しいのは皆さん共通の認識であり、次世代のために犠牲にしなければならないことも出てくるのではないかと思います。そのようなときに政治や行政等が判断するうえでの指針となるような計画としていただければありがたいと思います。

(松村会長)

ありがとうございました。以上で本日予定していた議事は全て終了となります。長時間の御審議ありがとうございました。これをもって議長の任を解かせていただきます。進行を事務局へお返しいただきます。

(高橋総務課長)

松村会長ありがとうございました。本日はお忙しい中、長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。以上をもちまして、第3回信濃町長期振興計画審議会を閉会いたします。

(16:30 閉会)